

議会だより



Contents

- | | | | |
|-------------------|-----|----------------|-------|
| ● がんばる美浜びとインタビュー | 2 | ● 12月定例会議案一覧 | 8 |
| ● 議長 新年の挨拶・議会と語る会 | 3 | ● 議案賛否・討論概要 | 9 |
| ● 各視察研修 | 4 | ● 一般質問 | 10~15 |
| ● 12月補正予算 | 5 | ● 20歳のつどい・編集後記 | 16 |
| ● 常任委員会の動き | 6~7 | | |

ONE FOR ALL



プロフィール

美浜町早瀬
川嶋大輔 (42歳)



● 議会の課題
移住者に対する
支援の充実



Q: 家族構成も含めて自己紹介をお願いします。

A: 川嶋大輔と申します。年齢は42歳です。2024年4月にUターンで和歌山県から戻ってきました。美浜町の空き家バンク制度を利用して頂き早瀬で空き家を購入。妻と保護猫二匹と保護犬一匹の五人で早瀬に暮らしています。妻は県外からの移住者です。

Q: 仕事の内容とその仕事をやることになったきっかけは何ですか？

A: 中学生の時に見た映画の影響で、映画監督になりたいと思います。高校卒業後に映画の専門学校に通いました。その後、東京の広告制作会社に入社し、CMやミュージックビデオの監督として、映画ではないですが、広告の映像の仕事をしていました。現在はデザイン事務所川嶋鉄工所を開業し、映像制作やホームページの制作、パンフレットデザインなどを行っています。特に自然を撮影した写真・動画が好評で、農業や漁業、観光PR関係の自然と共に事業をされている事業者様の案件に、多く関わらせてもらっています。

事務所の名前となっている川嶋鉄工所は、父親が早瀬で営んでいた鉄工所の名前をそのまま譲り受けています。デザインなのに鉄工所で、よく勘違いされています。(笑)

Q: 美浜町に戻ってきた理由は何ですか？

A: 結婚したことが大きな理由です。

Q: 普段はどこで活動していますか？

A: 基本的に早瀬の家で作業していますが美浜町の自然やのどかな町並みが好きなので、時間を見つけては町のあちこちで撮影しています。

Q: 美浜町で叶えたい夢はありますか？

A: 美浜町で活動されている魅力的な人を

撮影させて頂き、町民にスポットを当てた、美浜人を紹介するWebサイトを作れたらいいなと思っています。

また、美浜町に戻り数ヶ月過ごす中で、広報誌や新聞、または人づてに聞く話の中で、美浜町にもこんなことをされている人がいるんだ！と驚きと興味湧くことが多くありました。またそれと同時に、同じ町民でも知らないことも多いと感じました。住む人にスポットを当て、町の魅力を伝えていく事例をよく見ます。美浜町には誇らしい自然と文化、食べ物があります。そこに、多方面で活躍する町民にもスポットを当てることができれば、また違った角度から美浜町の魅力が伝わるのではないかと思います。そんなことも今後できれはと考えています。

Q: 美浜町のいいところはありますか？

A: 海も山も湖もある、自然豊かな土地にも関わらず、人里離れた不便な街という事でもなく、自然と町が調和された住みやすい町だなと、改めて感じています。写真を撮影するという事もあり、美浜町だけでいるんな風景が撮影できる事がとても嬉しいです。

Q: どのような町(美浜町)になってほしいですか？

A: 自分が自営業者という事もありますが、飲食でも農業でも漁業でも、地域のために何かを始める人がいて、それを受け入れてくれる、応援してくれる土壌のある町だったらいいなと思います。UターンでもUターンでも、町内の人でも、美浜町で事業を始める人が増えたら、より活気のある町になっていくのではないかと思います。

新年明けまして おめでとうございます



美浜町議会議長 川畑忠之

地域がつながり、
みんなで創る
まちづくりを目指して

新年明けましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、ご家族
おそろいで、輝かしい新春を健やか
にお迎えになられましたことを心か
らお喜び申し上げます。また、旧年
中は議会活動に深いご理解と温かい
ご支援を賜り、心より厚くお礼申し
上げます。

昨年が町政施行70周年を迎えるこ
とができました。また、日本遺産「北
前船寄港地・船主集落」に追加認定
されたことで、まちづくりや地域づ
くり、観光振興の活性化につながっ
ていくことを期待しております。

さて、私たち議会としましては、「開かれた議会」を目指す取り組みとして、議会の見える化に向け、「議会と語ろう会」を町内4会場で開催させていただきます。

また、議会改革として、議場モニターでの、生成人工知能(AI)による、音声自動文字起こしシステムを導入してきました。

現在、議会動画のインターネット配信について、議論がされており、今後の配信に期待しているところがあります。

今年2月には、町民皆さまとの「議

会と語ろう会」を計画しております
ので是非ご参加いただきたいと思
います。

これからの美浜町は、人口減少・
少子高齢化等の大きな課題が山積
です。

この厳しい社会情勢を乗り切るた
めには、町の魅力を最大限活かした、
自主性・自立性のある政策が一層重
要となります。

また、「住み続けたいまち美浜」
の実現に向けて、更なる一歩を踏み
出したいと思っております。特に、若者や
子育て世代が安心して暮らせる環境
づくりを力を入れてまいります。

美浜町は、豊かな自然と温かい
人々が育む素晴らしい町です。この
町で暮らす一人ひとりが、それぞれ
の役割を果たし、共に未来を築いて
いきたいと思っております。

本年も町議会に対し変わらぬご支
援・ご指導をよろしくお願い申し上
げます。

新しい年が皆さまにとって、実り
多き年となりますことを心よりご祈
念致しまして、新年のご挨拶とさせ
ていただきます。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上
げます。

議会と語ろう会 開催予定

議会と語ろう会

12月定例会、令和6年度補正予算概要の報告
住民のみなさんと意見交換会

「議会と語ろう会」で、議会の仕組みや今後の議
会改革の方向性を知っていただきたいと思いま
す。
また、議会の使命は行政の執行状況に対する批
判と監視です。議会は、住民自治(民主主義)を
担う機関として、住民の福祉向上を目的に活動し
ています。
意見交換会では、みなさんの意見を議会で反映
させるため、地域の様々な課題やみなさんの思い
をお聞かせください。
私たちは、みなさんと一緒に良い美浜町を
つくりたいと考えています。



【日程】 2025年2月5日、6日

【時間】 5日(水) 午後6時30分～

6日(木) 午後6時30分～

【場所】 5日(水) 北西郷公民館(会議室)

佐田公民館(ホール)

6日(木) 南西郷公民館(会議室)

耳公民館(会議室)

主催 美浜町議会

【問い合わせ先】
美浜町議会事務局 32-6711

議会とは？(第2弾) 議員必携(第12次改訂新版・全国町村議会議長会編纂)より
少しでも議会のことを知ってほしい！そんな気持ちで作成しました。

今回は3項に「主な議会の権限(すなわち責任)」について概説しました。

(1) 地方自治は団体自治と住民自治に大別され、目的は共に住民の福祉向上

町長に執行権	団体自治(地方分権)	目的は共に住民の福祉向上
議会に議決権	住民自治(民主主義)	

(2) 議会は住民を代表する公選議員で構成される地方公共団体の意思決定機関

(3) 主な議会の権限(すなわち責任) ※議会の権限であり議員の権限ではない

① 議決権: 町長が提案した案件に対して可否を表明する権限

※議決した議会の意思は議員個々の意思ではなく議会全体の意思となる

② 検査権: 町の事務の管理、議決の執行及び出納を審査する権限

※この権限は議員個々にはなく議会に与えられたものである

③ 監査の請求権: 監査委員に対し、町の事務に関する監査を求める権限

※②の検査権は書面検査であり実地検査が必要な場合にこれを適用する

④ 意見書提出権: 公益事件について県・国等に議会の意思を表明する権限

※自町の行政機関は提出対象ではなく必要な場合は決議として表明する

⑤ 100条調査権: 町の事務について議会が調査できる権限

※強制力を伴う強力な権限であり発動には慎重を期す必要がある

⑥ 自律権: 議会が国・県・町から干渉や関与を受けず自らを律する権限

※規則の制定、会期の決定、懲罰、議員資格の決定等が対象になる

⑦ 同意権: 議決を要しない執行機関の重要な執行行為に同意する権限

※議会に修正権はなく同意が不同意の決定しかできない

⑧ 承認権: 執行機関が処理した事項について事後に承諾を与える権限

※専決処分された事項に適用される

⑨ 請願、陳情を受理し、処理する権限: 民意を行政に反映させる権限

※採択された請願は執行機関に対し期限付きでの報告の請求権がある

⑩ 報告、書類の受理権: 執行機関より一定の報告を受ける権限

※住民代表として行政の事務処理監視のため一定の報告を請求もできる

(4) 美浜町議会の重点施策

① 開かれた議会を目指し、令和7年6月議会を目標に本会議及び常任委員
会のインターネット配信の検討を進めています。

② 議員のなり手不足対策等のため、議員報酬・議員定数等の検討を進めて
います。

③ ご意見を行政に反映させるため、住民各位との対話を充実していきます。

- 皆様のご来場を、心よりお待ちしております。
- 議員報酬(定数含む)やレイクセンターについても、ご意見をお聞かせ下さい。



現地視察



産業厚生常任委員会視察

産業厚生常任委員会で令和6年11月5日（火）、6日（水）に①福井県こども療育センター児童発達支援センターつばさ（特徴：専門の医師や療法士、保育士、看護師などの多くの専門スタッフが診療ときめ細かい支援を行い、発達・成長することも達の潜在的な力を最大限に伸ばすように努めることができるということです。）②埼玉県上尾市の子ども・子育て支援複合施設「AGECOCO」（特徴：目的として、子どもたちが交流を通じて多様性を認め合い、豊かな人間性が育まれることを掲げています。取り組みについては、発達に関するあらゆる相談に対応し、一人ひとりの発達段階や状況に合わせて、保護者の不安や思いに寄り添いながら的確な支援メニューを提案し、子どもの力を伸ばすために最も効果的な支援ができるよう切れ目のない発達支援を実践しています。）を視察しました。



総務文教常任委員会視察

研修内容

◎解体に対する事業および補助内容について

岐阜県白川町では、無住から1年以上経てば、空き家とみなし、特定空き家等の区分はなく上限50万円の補助をしている。実績として、令和3年は6件、4年は10件、5年は8件、6年は15件である。

◎所見

空き家の利活用により美浜の特定空き家を増やさないことが重要であるが、既に特定空き家になってしまった住宅については、早急に解体することが、安全の確保、環境衛生上必要であると考え。それには解体手続きを簡素化し、解体支援を行政が積極的に行うことが求められると感じた。また、白川町では特定空き家、準特定空き家の区分はなく、1年以上無住となった住宅は空き家とみなして解体の補助をしており美浜町も同じようにするべきだと考える。



ふるさとサポートセンター視察

12月11日、古民家をリノベされた「みんなの茶の間八三六」を訪問し、先駆的な取り組みで有名な「NPO法人ふるさと福井サポートセンター」の北山理事長及び松本キーマンから、活動についての説明を受けました。

- ①人口減少・住宅過剰時代。美浜の空家予備軍は約700世帯（全国で900万）あり、放置すれば空家だらけになる。
- ②空家になって5年も経つと廃屋になる。
- ③だから川上（空家になる前）の決断が大切になる。

そうした問題意識から、

- ①空家の積極掘り起こし
- ②空家バンク等の流通の場へのアップ
- ③マッチングツアーで移住者掘り起こし
- ④所有者と移住者のマッチング支援
- ⑤移住から定住へ丁寧サポート

というサイクル全般を献身的に実践されています。

そうした中でバランスの取れた活動のためには、集落や町内会のアプローチが大切で、特にキーマンの存在が決め手になるとのこと。「議員もキーマンになって欲しい」という言葉が心に残りました。頑張ります。



あいばる視察

美浜町支援センター「あいばる」を、議会で視察しました。就学前児童の発達支援を行う施設です。専門のスタッフが相談にのり、一緒に悩みを解決していけるよう支援しています。言語療法や作業療法、放課後デイサービスなどを実施し、生活向上のために必要な訓練を行っているとのこと。一般にはあまり知られていない事業ですが、運営されている方の説明を伺い、事業での苦労や課題を知ることが出来ました。印象に残った事は、十分な療育を行うためには専門スタッフが必要ですが、人材が集まらない状況にあるとのこと。視察を終えて、支援が必要な子供たちや家族が、地域社会とともに「生きる」ことの大切さを強く感じました。



生活者目線 で見ると

12月補正予算

わたしたちの

税金の つかいみち

8億4128万5千円

補正後予算総額 106億3357万7千円

美浜中学校開校50周年 記念事業

405万3千円

まちの未来を担う人づくり —昭和50年4月開校—

▼ 著名スポーツ選手の招聘

実施日：令和7年2月～3月予定
内 容：実技指導 トークショー
対象者：美浜中学校生と希望する町内小学生

▼ 記念式典及び講演会

実施日：令和7年3月12日予定
内 容：高木直也（新庄出身 パッケージデザイナー）
対象者：美浜中学生
※当日は講演会 校舎見学一般公開



レイクセンター運営事業

さらなるステップ
アップをめざして

2119万3千円



内訳 ▶

人件費	554万3千円
需用費	281万9千円
船舶保険料	152万4千円
業務委託料	392万7千円
備品購入費	399万5千円
など	



すべての人に健康と福祉を

- 心身障害者(児)医療無料化対象事業
医療費 220万4千円
- 地域生活支援事業
日中一時支援事業費 55万3千円
移動支援事業費 58万円
- 補装具給付事業 191万7千円
- 身体障害者更生医療給付事業 351万4千円
- 障害福祉サービス事業 68万4千円
- 障害者介護給付事業 1278万1千円
- 障害者訓練等給付事業 920万1千円
- 障害児福祉サービス給付事業 481万9千円

人に優しい美浜町へ

総合運動公園改修事業 1059万8千円

安全・安心まちづくり推進事業

防犯カメラ設置整備補助 80万円

まちづくり基金積立金 5億円

にぎわい創出基金積立金 1504万2千円

公共施設維持補修基金積立金 6254万9千円

企業誘致助成事業基金積立金 5043万1千円

明かりのまちづくり事業基金積立金 8100万円

常任委員会の動き

12月定例会では予算決算常任委員会に議案5件、総務文教常任委員会に議案4件、産業厚生常任委員会に3件が付託され、詳細な審議を行いました。

詳細な内容は議会ホームページをご覧ください

<https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/site/town-council/>



予算決算常任委員会

議案第76号美浜町一般会計補正予算(第5号)

議会費から衛生費

問 「明かりのまちづくり事業基金」について基金造成の目標額はあ

回答 電源立地地域対策交付金の積立の限度額が8,100万円となっている。

問 「まちづくり基金」に5億円積み立てているが、その目的は。

回答 「まちづくり基金」は将来に向けたまちづくり施策に向け積み立てをするもので、今年度、法人町民税の増収によるものと、前年度の繰越金が確定したので積み立てるものである。

問 「標準準拠システム移行業務委託料」の減額について、その詳

細は。

回答 標準化に伴う戸籍システムのクラウド化業務が次年度の国庫補助対象になったことから次年度に送るものである。

問 「書かない窓口システム」の内容とは。

回答 「住民が証明書等を申請する際に、マイナンバーカードや免許証等のICカードに搭載された情報を利用し、顔認証により住所等が記載された申請書を自動でプリントアウトするシステムである。

問 レイクヒルズ美方病院について、マイナ保険証での受付や、処方箋等の対応はできるのか。

回答 レイクヒルズ美方病院はすべて対応が可能である。

問 「福祉事業所等物価高騰対策支援事業」については、補正予算の度に計上されているようだが、何に

対して重点的に支援する事業か。

回答 県の物価高騰対策支援事業に基づき、町内の介護保険サービス事業者及び障害福祉サービス事業者に対し電気料金の支援を行うものである。

農林水産費から公債費

問 「レイクセンター運営事業」について、令和7年1月1日から3月末までの直営による運営経費の計上であるが、行政は当該施設を年間運営した場合の経費見積もりについて把握しているのか。

回答 年間経費については、しっかりと見積もりたい。また、レイクセンターはサイクリングのステーション、楽しめる湖面アクティビティの発信、日本遺産の伝承館等、エリア全体の魅力を高めるための拠点であることから、コンサル任せにすることなく、持続的な経営を目指し経営強化計画を策定したいと考える。

問 「単小規模土地改良事業」の減額は、田んぼダム事業不採択であり、「中山間地域総合整備事業」の減額は、菅浜地区用排水事業の不採択というが、来年度以降の方向性を尋ねる。

回答 田んぼダムについては来年度も引き続き要望する。菅浜については県営の別事業にて採択を目指したい。

問 「興道寺廃寺保存活用事業」について、土地の購入は目的が果たしているものか。何にするか分からないままに進めるのは如何なものか。

回答 興道寺廃寺については、史跡やその価値については位置付けられているものの、今後の議論となる。大まかな絵を描いているので、改めてお示ししたい。

問 「美浜中学校開校50周年記念事業」について、著名スポーツ選手の招聘は部活動の種目で行うのか。

回答 その通りである。

議案第79号令和6年度美浜町上水道事業特別会計補正予算(第2号)

問 能登半島地震において、上下水道管の耐震化が課題となっているが、本町の状況は。

回答 数年来より更新工事に着手し、今年度は早瀬地区を施工している。今回の補正予算は、その財源確保のために計上するものである。



総務文教常任委員会

議案第81号

美浜町税条例の一部を改正する条例の制定について

問 個人住民税の寄附金税額控除の改正で、寄附金控除について具体的に説明をお願いしたい。

回答 特に県・市町に対するふるさと納税については、特例控除額を加算した寄附金控除ができるという内容である。

一例をあげると、夫婦で年収700万円、所得税率20%、配偶者に収入がなく控除対象扶養親族がいないケースで言うと、ふるさと納税を、8万円寄附をすると、2,000円を差し引いた7万8,000円が税の軽減額となる。内訳は、個人住民税については、基本分7,800円に加え、特例控除分が5万4,300円、所得税と復興特別所得税を合わせて1万5,900円、合計7万8,000円が税の軽減額となるので、自己負担額は2,000円となる。

問 寄附金控除額には上限があるのか。

回答 寄附金額の合計額が、総所得金額等の30%を超える場合には、総所得金額等の30%相当分が住民税の

寄附金額となる。また、ふるさと納税による軽減額の上限は個人住民税所得割額の2割となる。

議案第82号

美浜町手数料条例の一部を改正する条例の制定について

問 コンビニ交付における証明書交付手数料の減額措置を3年間延長した理由は。

回答 マイナンバーカード等によるコンビニ利用状況が低いことから期限を切って、町民への浸透と利便性を図るためである。実績を確認した上で今後、期間の見直しと費用対効果を含め、検討する。

議案第84号

美浜町明かりのまちづくり事業基金条例の制定について

問 条例の内容は電源立地対策交付金および原子力施設等に立地地域基盤整備交付金を積み立てるとあるが別途、国の補助金はあるのか。

回答 条例に記載した交付金を積み立てるものであり、他に補助金はない。

産業厚生常任委員会

(1) 議案第85号

美浜町レイクセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

改正の内容は、使用可能な施設として新たにカフェ(厨房設備等)を追加し、カフェの使用料を定めるもので、カフェ、1月につき、使用料4万円とするものです。

対抗的な意見として

「今まで指定管理者の運営では従業員を配置してカフェの運営を続けてきた。それを町の直営にしたら、行政職員では仕入れ販売が難しいからカフェのサービスは切り離して事業者を募集します。募集しても事業者がない場合はカフェの運営はできないという。レイクセンターをどうやって魅力的なものにするのか、その大きな要素としてカフェの運営をどうするべきかという視点が全然ない。」という意見などがありました。

採決の結果、賛成少数で、承認しないことに決しました。

(2) 議案第86号

美浜町上水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

改正の内容は、上水道事業の経営の規模を変更するもので、本改正により上水道区域に追加される区域は、丹生、竹波、菅浜、山上、北田、太田、佐田、新庄(雲谷、奥、松屋、浅ヶ瀬)、けやき台です。

採決の結果、全員賛成をもって承認することに決しました。

(3) 議案第87号

美浜町生活基盤強靱化事業基金条例の制定について

上水道施設の更新及び耐震化により水道水の安定供給を確保するために実施する生活基盤強靱化事業に必要な資金を積み立てるため、地方自治法(昭和22年法律第67号)第241条第1項の規定に基づき、美浜町生活基盤強靱化事業基金を設置するというものです。

採決の結果、全員賛成をもって承認することに決しました。

令和6年度 第6回 美浜町議会定例会 議案

令和6年第6回美浜町議会定例会期間：令和6年11月29日～12月19日

議案番号	件名	委員会付託	議決結果
議案第76号	令和6年度美浜町一般会計補正予算(第5号) 7億7578万8千円増額	予算決算	可決
議案第77号	令和6年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) 1254万4千円増額		可決
議案第78号	令和6年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第2号) 200万2千円増額		可決
議案第79号	令和6年度美浜町上水道事業会計補正予算(第2号) 2億9704万3千円増額		可決
議案第80号	令和6年度美浜町下水道事業会計補正予算(第2号) 収益的収入3073万3千円減額 収益的支出1373万7千円減額 資本的収入4400万円減額 資本的支出6100万円減額		可決
議案第81号	美浜町税条例の一部を改正する条例の制定について 地方税等の一部を改正する法律の公布に伴い、関係規定の整備に必要な事項を定める。	総務文教	可決
議案第82号	美浜町手数料条例の一部を改正する条例の制定について マイナンバーカード等を利用して多機能端末により取得する証明書の手数料について、減額特例措置の期間を延長するために必要な事項を定める。		可決
議案第83号	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について 情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の公布による組織及び運営に関し必要な事項を定める。		可決
議案第84号	美浜町明かりのまちづくり事業基金条例の制定について 防犯街路灯の整備により住民生活の安心安全に寄与することを目的に実施する明かりのまちづくり事業に必要な資金を積み立てるために必要な事項を定める。		可決
議案第85号	美浜町レイクセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 美浜町レイクセンターの施設使用の見直しに伴い、関係規定を整備するために必要な事項を定める。	産業厚生	可決
議案第86号	美浜町上水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 簡易水道事業を上水道事業に統合することに伴い、関係規定を整備するために必要な事項を定める。		可決
議案第87号	美浜町生活基盤強靱化事業基金条例の制定について 上水道施設の更新及び耐震化により水道水の安定供給を確保するために実施する生活基盤強靱化事業に必要な資金を積み立てるために必要な事項を定める。		可決
議案第88号	令和6年度美浜町一般会計補正予算(第6号) 6549万7千円増額(電力・ガス・食料品等高騰重点支援給付金事業等)	—	可決
議案第89号	令和6年度美浜町診療所事業特別会計補正予算(第1号) 54万3千円増額	—	可決
議案第90号	令和6年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第3号) 35万2千円増額	—	可決
議案第91号	令和6年度美浜町上水道事業会計補正予算(第3号) 収益的支出81万9千円増額	—	可決
議案第92号	令和6年度美浜町下水道事業会計補正予算(第3号) 10万4千円増額	—	可決
議案第93号	美浜町一般職の職員の給与に関する条例及び美浜町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について 人事院勧告等を踏まえ、一般職の職員の給与等を改定するのに必要な事項を定める。	—	可決
議案第94号	美浜町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について 人事院勧告等を踏まえ、当別職の期末手当の支給割合を改定したいするために必要な事項を定める。	—	可決
議案第95号	美浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 人事院勧告等を踏まえ、会計年度任用職員の給料を改定するために必要な事項を定める。	—	可決
陳情第1号	教員の長時間労働の抜本的改善を求める意見書提出に関する陳情 全国どこでも同様な教育が受けられるよう、教育の機会均等を保障するために、国において適切な措置を論じることを求める意見書を提出することを求める。	総務文教	採択
発議第3号	美浜町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議員報酬 など 議会改革	可決
発議第4号	議員報酬改定検討報告書を町長(報酬審議会)に提出する決議(案)		可決
発委第4号	教員の長時間労働の抜本的改善を求める意見書		—

※略称 <予算決算>…予算決算常任委員会 <総務文教>…総務文教常任委員会 <産業厚生>…産業厚生常任委員会
<議会報酬など議会改革>…議会報酬など議会改革特別委員会

賛否が分かれた議案

議席順に掲載（○賛成 ×反対 一欠席 □退席）し、反対または退席等があった議案だけ載せています。
 ※議長（川畑忠之）は採決に加わりません。

議案番号	幸丈	兼田	中牟田	上道	高橋	梅津	河本	辻井	松下	崎元	山口	藤本	竹仲
議案第76号	○	○	○	×	○	○	×	-	×	○	○	○	○
議案第85号	×	○	○	×	○	○	×	-	×	○	○	○	○
発議第3号	○	×	○	○	○	×	○	-	○	×	○	×	○
発議第4号	○	×	○	○	○	×	○	-	×	×	○	×	○

討論概要

〔12月定例会〕

議案第76号

令和6年度美浜町一般会計補正予算(第5号)

●反対討論

今回、商工費のレイクセンター運営事業に2119万3千円が計上されている。内容は、来年1月1日～3月末まで、町がレイクセンターを運営するための経費や経営強化戦略の策定をシンクタンクに委託する費用である。シンクタンクのような専門機関に任せれば、政策、表現、指標など綺麗な計画が出来上がると思うが、そんなものでレイクセンターを運営する新たな観光事業者が現れるとは思いません。三方五湖DMOが撤退した時点で、レイクセンターと電池推進遊覧船の破綻は明白。施設の維持管理費など運営コストにお金がかかり、採算が取れないハコモノに民間事業者のなり手が出てくるはずがなく、この先の展望も明るい兆しは何ひとつないので、本議案を認めることはできない。(河本議員)

議案第85号

美浜町レイクセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●反対討論

産業厚生常任委員会で、本議案に反対された議員は、レイクセンターの運営をお客様の目線で真剣に考え、レイクセンターの魅力を損なわないようにレイクセンターとカフェの運営を切り離すことなく、両方とも町が直営にしてスタートさせることが、最大の利益につながるかと考えて、本議案に反対されたと思う。

私も同じ思いであり、本議案を認めることはできない。(河本議員)

発議第3号

美浜町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●賛成討論

4.60という値は民間のボーナスの支給割合と同等なので社会的な許容範囲であり、高すぎるといいことはない。議員の報酬や期末手当の増額に住民からの非難が多いのは、単に議員の活動が報酬額に見合わないと思われている、議員個人の活動力や情報発信力が足りていないのが原因だと思います。議員の報酬や期末手当を増額してもそれに見合った活動にならなければ住民からの非難は少なくなると思います。議員の活動力強化と生活の安定のためには、人事院勧告を参考に民間の支給割合(社会情勢と連動させることが合理的だと考えるので、発議第3号)に賛成する。(河本議員)

発議第4号

議員報酬改定検討報告書を町長(報酬審議会)に提出する決議案

●賛成討論

これまで、議員報酬の引き上げが積極的に行われて来なかった背景はいくつもの要因があるが、議員報酬を引き上げると町民からの非難的になるので、現職議員にはデメリットしかないことが一因としてあげられる。また、議員報酬を引き上げようという「なり手不足対策」を行うと、「なり手がない環境」で保てる現職の優位性(最大のメリット)を放棄することになるので、現職議員が「なり手不足対策」に積極的に踏み出さないことも一因としてあげられる。

議員報酬改定検討報告書を町長(報酬審議会)に提出する決議案については、議員報酬を引き上げよう戸嶋町長に求めるのではなく、議員報酬改定検討報告書の内容に議会のお手盛りがないかを審査してもらうために議員

報酬改定検討報告書提出するか、しないかを決める決議案である。最終的な議員報酬の引き上げについては、議会側が条例改正案を本会議に提出するので、この決議案で町長や報酬審議会の責任で議員報酬を引き上げよう求めるものではない。

今回提出する議員報酬改定検討報告書については、美浜町議会議員の活動量に見合う議員報酬の適正な水準を示すために、全国町村議会議長会が採用している原価方式で改定する議員報酬の額を算出している。

全国的に広がる無投票や定数割れ、議員のなり手不足問題は、民主主義の危機である。また、議会の高齢化、男性に偏った議会構成の問題も同時に解決していかなければならない。

どうして、若者、女性、障がい者、勤労世代(会社員、管理職)の住民が議員という職業に見向きもしないのか。それは、議員報酬だけが生計を維持できないほどの低水準であることに加え、昇給もなく、福利厚生もなく、政務活動費もなく、人生設計を考えるうえで明るい展望を見いだすことができないからである。

この立候補を阻害する要因を放置して、「なり手がいない」と言っている、なり手が出て来るはずがなく、無投票定数割れの危機は永遠に続く。また、年金をもらえるようになって初めて議員活動と生活が安定するよう環境では、議会が高齢化するの当たり前である。

議会を今以上に活性化させるには、若者、女性、障がい者、勤労世代(会社員、管理職)の住民が、住民自治(民主主義)の担い手として立候補し、議員としての職責を果たしながら、美浜町のよい良い発展を築いていく環境の整備が必要。

議会の議席というのは住民の議席である。私たちは住民から議席を預かって職務を遂行していることを考えると、

今後の議会のあり方を見据え、近い将来、議員となる住民のために、より良い環境を整備することは、私たち現職に課せられた使命だと思う。

多様で有能な人材が議会に参画するためには、議会の活性化や機能強化を図りながら、立候補を阻害する要因を取り除き、志を抱く誰もが議員として活躍できる環境の整備が必要だと考えることから、決議案に賛成する。(河本議員)

●反対討論

以前、期末手当の年間支給割合を3.1ヶ月から4.5ヶ月に引き上げる際に議員非常勤職には該当しないという事で引き上げに反対されていたきました。当然、人事勧告に合わせて期末手当の年間支給割合を4.5ヶ月から4.6ヶ月にすることに賛成できない。(崎元議員)

●反対討論

日本のほとんどの町村議会の報酬は、約22万円程度である。物価高騰で報酬を上げること自体は反対しませんが、提示金額の月額38万2500円には、賛成できない。昨年までの議員報酬は年収354万8500円でした。発議第4号の報酬提示額は、期末手当の年間支給割合4.6ヶ月を合わせると年収634万9500円になり、昨年と比較して約280万円の増額になる。

報酬は、物価に応じて上げるべきであり、この上げ幅は到底、町民から理解が得られるとは思いません。(崎元議員)

一般質問

一般質問はMMネットの行政チャンネルで翌日の午後8時、翌々日は午後1時から放送されています。

12月定例会では6人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、問いただきました。



河本 猛 議員

① 市議会平均よりも多い美浜町議会の会期日数、しっかり評価すべき!

答 会期日数だけではなく、実際の活動内容で示す必要がある。

問 令和4年1月17日付けの美浜町特別職報酬等審議会の答申（報告）は、近隣自治体と議員報酬月額と比較で、議員報酬額が県内で最も多い町として、池田町議会の25万5000円をあげている。

また首長との報酬比較では、市議会議員の約50%前後であるのに比べて、町議会議員は約30%の状態になっている。このような水準になっていることについては議会の年間会期日数の違い、市議会平均80.9日、町議会平均約42.8日が影響していることも考

えられると指摘している。

しかし、直近の会期日数は、池田町議会の会期日数は令和5年12月定例会が3日、令和6年3月の定例会が9日、6月定例会が4日、9月定例会が4日という年間20日間。

一方で、美浜町議会の会期日数は、令和5年12月定例会が23日、令和6年の3月定例会が20日、6月定例会が19日、9月定例会は25日の年間87日間で、市議会平均の80.9日を超える会期日数である。

この点、報酬審議会の答申は、議会の会期日数において、市議会平均の80.9日、町議会平均42.8日が議員の報酬に影響していると考えられると指摘しておきながら、その外見的な報酬額を提示するのみで、美浜町議会と池田町議会の会期日数の比較や市議会平均や町議会平均の会期日数から比較した評価を全く行っていないというのは不当極まりないと思う。評価すべき点を見過ごしているのか、悪意があつて無視しているのか、わからないが、本来、議会の会

期日数というのは、議会議員の表に現れる活動量として比較検討しやすい数値である。

表に現れる活動が多くなれば、それにとまない表に現れない議会・議員活動も増えるが、現状においては、美浜町議会の会期日数が市議会平均の80.9日を超えることを今後しっかりと評価していくべきだと思うが、町長の考えを伺う。



町長

全国町村議会議長会の町村議会議員の議員報酬等のあり方検討委員会によると、議員報酬の算定方式として、原価方式、比較方式、収益方式の3方式が想定されている。

会期日数の評価、活動量は、現在、活動内容を踏まえた原価方式において使用されるもので、活動内容を住民に示すために、議会の活動内容と活動量を算出し起用される算定方式だと聞いている。活動内容を踏まえた、原価方式の算定モデルに基づき、町議会の活動を評価するには、会期日数だけではなく、実際の活動内容で示す必要があると思っ

ている。予備日や休会日を含めた会期日数だけをもって議会の活動を正確に評価することは合理的ではなく、活動内容の評価や活動の成果を示すことよって最も重要な町民の理解をうることに繋がるのではないかと考えている。

意見

人事院勧告に基づいて美浜町の職員の俸給や手当は拡充されるが、議員の場合は福利厚生がない。美浜町議会の場合は、法的に支払いが可能な交通費に関する費用弁償や政務活動費もない。議員報酬にも生活給的要素がなく、年金をもらえるようになって初めて議員活動を行いつつながら生活が成り立ち安定す

るようなこの環境では議会が高齢化するのには必然である。なぜ20代から50代の若者や管理職クラスの勤労世代、性別では女性のなり手が少ないのか、ここに問題の焦点を当てて立候補を阻害するような要因を取り除くことがなり手不足対策の課題である。

議会は、多様で有能な人材を確保し、組織パフォーマンスを向上させ、1人1人の議員が高い志を持って職務を遂行できる魅力ある議会をつくり、住民自治（地域民主主義）を存続させ、町民の負託に応え、より良いまちの発展、まちづくりを行うという未来志向で議員報酬を含めた議会改革に取り組んでいかなければならない。





うめ っ たかひさ
梅津 隆久 議員

① 第五次美浜町総合振興計画の主要施策の一つである「観光施設の整備と地域資源の掘り起こし」について問う。
嶽山山頂観光開発について

答 周辺滞在型観光への活用として可能性等について検討する。

問 早瀬の嶽山は、レイクセンター前に登り口があり、山頂には弥勒仏本殿と仏舎利塔が設置されている。また、過去に活用されていたマレットゴルフ場と電波塔も有り山頂は若狭湾、日向湖が一望でき風光明媚な場所であるが、周辺環境保全管理が手つかずとなっている。また、トイレが整備されていない。上下水道の整備・トイレの設置、および山道の山際落石防止、側溝の排水路手直し等を実施し安全の確保を図る。ま

た、景観確保のため周辺、雑木の伐採を図り、地域資源を生かした山頂公園として整備し、レイクセンターとの運営管理で集客拡大を図る考えはないのか質問する。

町長

三方五湖天空のテラスやレイクセンター、道の駅はまびよりなどの観光資源の整備や、魅力アップ施設等、リニューアル支援に取り組み、開業以降、着実に観光呼び込み客や宿泊者数は増えて来たところであるが、中長期的な視点を持って、観光誘客戦略を強力に進めていきたい。嶽山エリアは課題も多くあることから活用の可能性等について、検討する必要があると考えている。

観光誘客課長

昭和40年代、レイクボートラインが整備されるまでは、山頂にはレストランや展望台等が整備され、たくさんのお客で賑わっており、誘客に繋がる観光資源としての魅力もあり、レイクセンターとの相乗効果も期待できるものであるが観光客の利便性向上と、新たな水道施設やトイレの整備など、衛生面の充実、また、レイクセンターからのアクセス道路の落石防止や側溝排水路の改修など、抜本的な安全対

策も必要となるが、第一種区域であり、新たな建造物の設置は原則認められず、樹木の伐採についても厳しい制約があるなど、整備にあたっては、多くの課題がありどのような取り組むのかを多角的な視点で慎重に検討していく必要があると考えているところである。

意見

観光誘客には将来的にも考えていきたいということであるが、たくさんのお客が来るということ、なかなか、その嶽山山頂の原野を観光地にするには難しいということであるが、せっかくある地元の資源であるので、何とかトイレの整備等を実施し、観光地として誘客が図れるように努力してほしい。

② 美浜町民の愛唱歌の活用について

答 隠れた資源が注目され、周遊滞在型観光に繋がるよう、その活用方策の検討と、美浜音頭による周知に努力する。

問

美浜町制25周年記念事業として昭和54年に詩人の森菊蔵氏が作詞、五木ひろしさんが作曲した、五木ひろし「美浜音頭」として美浜

町民の愛唱歌として盆踊り等で今でも歌い継がれ歌詞は美浜町の自慢できる名勝をPRしている。約11箇所の名勝の内、久々子弁天、嶽山・弥勒仏を地域資源として観光地に整備する考えはないのか。

観光誘客課長

歌詞に登場する久々子弁天から早瀬区に通ずる遊歩道の一部改良整備に着手したところである。嶽山や弥勒仏の活用につきましては、観光資源としてのポテンシャルは、あると考えているが、多くの課題があるので、これからのように活用していくかを検討していきたい。

意見

美浜音頭を次世代層へ景勝地として伝承していくよう教育委員会を含めて検討をお願いしたい。

③ はまなびフェスタ2024・鯖サミット in 美浜の実績について問う。

答 各出展者の売り上げを目的としたものではなく、多くの人が集い、繋がる交流の機会の創出を目的として実施した。

問

十月二六・二七日に開催された「鯖サミット

in美浜」に全国から鯖に関する出店ブース27、はまなび出店ブース26の計53ブースでにぎわいましたが、入込み客数と売上実績を伺う。

産業政策課長

2日間、約1万3200人となり、約昨年の約7000人より倍増に近い来場者となり、このフェスタの趣旨は、各出展者の売り上げを目的としたものではなく、多くの人が集い、繋がる交流の機会の創出を目的とするもので、来場者に対し、町内商品および日本各地の鯖関連商品さらには各団体の活動をPRするための機会の場合として開催しているものでこれまでも、各売り上げの報告を求めている。

問

本事業の実行委員会の方々からのご意見ですが、計画通りの予算がなく企画運営に大変苦労したと聞いているが町の見解を伺う。
予算内で、創意工夫しながら、広角的な効果的な取り組みを進めていただいたと理解しており、今後とも町民や事業関係者のお声を踏まえながら、町民や若者の発想による、よりよいフェスタの開催を支援していきたいと考えている。

産業政策課長

一般質問

一般質問はMMネットの行政チャンネルで翌日の午後8時、翌々日は午後1時から放送されています。

12月定例会では6人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、問いただきました。



議員 上道 正二

① レイクセンターについて

問 行政が直営でレイクセンターを運営すると言っているが、完全直営とはどういうことか。

観光誘客課長 直営とは、レイクセンターに係る全ての業務で人材の採用や管理、予算の執行、設備の維持管理、サービス提供などを町の職員が主体的に行うこと。

問 三方五湖DMOは、このように、公益事業等を運営しているが、レイクセンターのみを三方五湖DMOから切り離して、行政が直営ということか。

観光誘客課長 レイクセンターの運営管理については、1月から三方五湖DMOからの運用を切り離して、町が直営で運営すること。

問 行政は直営すると言いつつ、電池推進遊覧

船の運航などを一部委託するといっているが、委託する業者は決まったのか。

観光誘客課長 当該観光事業者とは合意に至らず、安定的に事業を進めていくための

問 経営強化戦略が必要との判断に至った。観光事業者とは、経営強化戦略を持って、再度協議を開始する旨、確認しており、委託事業者が決定するまでの一定期間は、町が直営で運行することとしている。

観光誘客課長 現時点で委託する業者が決まっていけないのであれば、1月1日からの運行はできるのか。

観光誘客課長 遊覧船の運航やイベントの企画運営など基本的な運営は当面町で行うこととしており。現在、町直営での遊覧船の運航にあり、必要となる運輸局の旅客不定期航路事業の認可については、既に申請書を提出するなど、所要の運行手続きを進めている。また、遊覧船の運航に係る人員についても、三方五湖DMOの社員を町で継続して雇用するための協議や、手続きに取り組んでおり、引き続き関係者と協議を重ね

ながら、令和7年1月からの運行に向け準備を進めている。

問 電池推進遊覧船の運航ができない場合は、引き続き三方五湖DMOに再委託するようなことはあるのか。

観光誘客課長 令和6年3月に三方五湖DMOと締結した覚書に基づき、所要の

観光誘客課長 引き続きを進めており、新たな観光事業者とこれから策定する経営強化戦略に基づき、運行委託の協議に入る段階であり、視野にはない。

問 三方五湖DMOの従業員の処遇はどうするか。

観光誘客課長 本人の意思を伺った上で、引き続き町の職員として現在の雇用形態を十分に配慮の上、レイクセンターで遊覧船業務に従事していただけるよう、所要の準備を進めている。

問 行政は、三方五湖DMOが撤退した後に電池推進遊覧船の運航を別の観光事業社に委託しようとしているが、一時は了解を得られたように見受けられたが、本当のところ若狭町や観光事業者

に、拒否されたのではないかと。若狭町とも遊覧船の運行を、観光事業者へ委託することに協力を重ねている。若狭町と若狭町議会とも、合意をいただいた上で、手続きを進めている。町では、この三方五湖において、長く観光事業を経営し、遊覧船とも親和性の強い観光事業者への運営委託を念頭に、協議を進めているが、持続的かつ安定的に事業を進めていくための、経営強化戦略が必要との結論になった。今回の補正予算については、経営強化戦略策定に必要な経費を計上している。議会において、予算の承認がいたされたら、速やかに、観光専門の大手シンクタンクに委託して、現状の課題であったり、改善点、基本方針、目標、収益成長政策等を取りまとめ、この戦略をベースとして、観光事業者と詳細な協議を進めていきたい。

副町長

問 関西に中間貯蔵施設、最終処分場を関電に提案する気はないのか。

エネルギー政策課長 フランスや県外への中間貯蔵施設への搬出、六ヶ所再処理工場での再処理など、あらゆる可能性を組み合わせて、着実に発電所が継続して運転できるよう取り組むとしている。

問 県道新庄高島線避難道はどう国に対して要望しているのか。

土木建築課長 これまでから町や町議会、福井県美浜町・琵琶湖北西地域道路整備促進期成同盟会が中心となり、県選出国会議員や関係省庁、福井県・滋賀県サイドに様々な機会を捉えて要望活動を行っている。

意見 核のゴミ、高レベルも、低レベルも危険を僻地にばかり押し付けられないで、都会に負担を求めること。また、これ以上廃棄物を残して未来永劫、子々孫々まで危険にさらすことを止めていただき、原発ゼロ基本法案の復活を願う。

② 原子力発電所について



かねだ かずお 議員
兼田 和雄

① 美浜町の小中学校の教育状況を問う

問 県内の小中学校の不登校の児童数が過去最多であるとの報道があったが美浜町ではどうか。

教育総務課長 学校や個人の特定に繋がりがかねない理由で各市町別での公表は控えているが、本町においては過去10年間は横ばいで推移している。

問 文部科学省のデータでは学校側と児童生徒のイジメ等に関する認識の違いがあり、学校側が子どもたちの状況を把握していないとの数字が出ているが、イジメや不登校の要因、校内暴力等、学校側はどの程度把握しているのか。

教育総務課長 要因としては家庭環境や生活リズムの乱れ等でありイジメが原因となる報告はない。校内暴力では令和2年度の1件以降報告はない。楽しい学校生活を送るために支援するスクー

ルカウンセラーや児童生徒をサポートする要員の配置が必要であると思われるが、美浜町はどうか。

教育総務課長 スクールカウンセラーは平成14年から1名県からの派遣を受けており、校内サポートルーム支援員では今年度から美浜中学校に1名配置されていて、引き続き配置を要望していく。

問 現在、静岡県で導入されている「チーム担任制」というのがある。この制度なら複数の教員に見守られ、児童も教員に相談しやすくなると思うが導入できるのか。

教育総務課長 このチーム体制は福井県が今年改定した「教育に対する大綱」の中に掲げられていて、各学級担任がチームとなって複数学級を担任する組織づくりを目指すものである。県の方で次年度からモデル校を選出して検証を進めることから本町でも導入が適切か検討していく。

② 学校給食の無償化について問う

問 今、全国の自治体で学校給食の無償化が進んでいる。全国1794自治体の内じつに547自治体が給食費の無償化に舵を切っている。その割合は30%を超えている。子育て支援、少子化問題、移住問題の解消の一助となっているのは明白である。ほかの自治体が財政的に厳しい状況にもかかわらず実施している。美浜町では財政の心配はなく、財政指数が1を超えている段階でやらない理由は見当たらない。美浜町の小中学校の給食費完全無償化はいつ出来るのか。

教育総務課長 近年の物価上昇に伴う原材料価格等の高騰に家庭の負担が増えないように町では物価高騰対策分を負担して、本年度は328万円を負担している。現時点では給食費を無償化するのではなく家計負担をこれ以上増やさないように努めてところである。

問 組織のトップとして町長の英断が必要と思うがどうか。

町長 給食費だけでなく全体を検証する中で家庭の負担軽減を考える。

③ 国吉城周辺の観光地開発について問う

問 新幹線開業後も福井県の認知度は低く唯一のインボラーインぐらいしかなのが現状。北前船の早瀬地

区、溪流の新庄地区、水晶浜の丹生半島、そして戦国の息吹を感じる国吉城。これらの観光地の知名度が低いままである。国吉城に関しては山上地区の岩出山砦、太田地区の中山の砦、秀吉と朝倉方の激戦地佐田地区、狩倉山の砦がある北田地区。それに国吉城を加えると二つのルートが出来上がる。城跡から尾根筋をたどる山岳トレイルルートである。これらの遺跡は土塁跡がしっかりと残っていて、少しの整備で充分活用できる。周辺5つの集落の協働で山岳トレイルマラソンコースとして活用できないか伺う。

生涯学習推進課長 過去いくつかのトレイルコースを検討した経緯があり、この25kmに及ぶコースはアップダウンが激しく体力的にハードなコースであり、十分な安全対策も必要である。さらに大半が民有地であり県が定めた埋蔵文化財包蔵地である。協議調整が必要となってくる。従って課題も多く現時点では時期尚早であると思われる。

意見 ハードなコースではあるが、魅力のあるコースでもある。周辺の集落の協働により遺跡の再認識、活性化が期待でき地域の相互関係

強化もできるので前向きに検討したい。

問 26年度のNHK大河ドラマが「秀吉兄弟」に決定した。木下藤吉郎、小

一郎の若い頃の話になっているので当然、金ヶ崎の退き口の話も出ると思われる。そこで、美浜町周辺をロケ地として誘致してはどうか。26年放映なので撮影は25年から今は脚本製作の段階。今の時期に勧誘しなければ間に合わなくなってしまう。大河ドラマで紹介してもらえば観光入り込み客数も増えるし、ロケ自体も大人数での宿泊となるので経済的にも潤う。たとえ大河の誘致が出来なくても他の映画、ドラマ等のロケ勧誘が出来れば美浜町の知名度が上がります。町長が指揮を執りプロジェクトチームを作り動くべきだと思うが如何か。

町長 戦略的にロケ地誘致活動を、との提案であるが何処に繋げていくか情報共有し、効果的な誘致活動をする事が出来ると思うならと考えている。

生涯学習推進課長 ロケ地誘致は地域の活性化にとってチャンスであり、誘致の可能性について関係機関等へ情報提供に努めていく。

一般質問

一般質問はMMネットの行政チャンネルで翌日の午後8時、翌々日は午後1時から放送されています。

12月定例会では6人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、問いただきました。



議員 幸丈 佑馬

① 美浜町公衆無線LANサービスについて

問

美浜町総合体育館は、地震、津波、洪水、高潮時の避難場所としても指定されているし、スポーツ大会等のイベントで、町内外の多くの人が集まる場所でもある。今後、美浜町公衆無線LANサービスを提供する予定があるのか。

まちづくり推進課長

令和7年度からサービスが開始できるように検討している。

② 美浜町民レガッタ大会について

問

10月20日に実施予定であった第37回美浜町民レガッタ大会は、強風による悪天候により、中止となった為、豊岡大会に出場するク

ルは決まっていらない。今後、予選会を行う予定があるのか。

教育総務課長

令和7年の6月以降に出場クルーの決定レースを行いたいと考えていて現在5種目中3種目で決定レースが必要となる為、日程調整をしている。

問

クルー編成においての経験者について、美浜町民レガッタ大会の基準を全市町村交流レガッタ大会と合わせる考えはないのか。

教育総務課長

経験者の基準については、町民レガッタ大会参加者からも多数の要望をいただいているので、全市町村交流レガッタの大会基準を参考に来年度以降、実行委員会を検討していききたい。

問

美浜町民レガッタ大会では、前年度の全市町村交流レガッタ大会に参加したクルーについては、交流レガッタ大会に登録された漕手2名以内でなければ、今大会で優勝しても参加資格を得ることができないと記載されているが、全市町村交流レガッタ大会は前年度優勝していなければ漕手を変更する必要はない。このことについてのようになっているのか。

教育総務課長

今年度、全国大会に出場されたメンバーからもこの規定が負担となり、選手の確保が困難であるとの声もある他、ローイング美浜の知名度を上げる為に強力なチームを編成育成すべきではないかということも聞いている。規定の見直しについて検討していききたい。

③ 全市町村交流レガッタ大会について

問

1回でも多く練習をしたチームが強くなると考えられるが、今後人員の確保や人件費等の課題があるが、練習期間を延ばすことは考えていないのか。

教育総務課長

大会開催日を念頭に置きながら可能な限り練習回数を確保出来るようにしていきたい。

問

全市町村交流レガッタ大会の開催地は毎年違うが開催地によって出場ク

ルは、大会当日の早朝から移動して大会に出場している。選手の安全または好成績を望むのであれば、選手にはベストコンディションで大会に臨んで欲しい。参加する選手には、仕事1日多く休まなければいけない等のデメリットも考えられるが、開催地に関係なく、大会前日の移動は考えていないのか。

教育総務課長

大会当日の午前中が公式練習となっている為、その時間に合うように当日の早朝または大会前日に美浜町を出発している。選手の身体的な負担を考慮すると大会前日からの移動が望ましいが、大会は土日に開催される為、大会前日からの移動が必要かどうか開催地ごとに検討していききたい。

意見

選手の安全面を考えると、大会前日の移動を基本に考えてもらいたい。

問

個人の大会参加費について、昨年からホテルの宿泊費が上昇している為、今後参加費が増えることが懸念されるが、どのように考えているのか。

教育総務課長

宿泊費が本町の旅費規定の範囲内で収まるように努めているが、近年は物価高騰や外国人の観光客の増加により、宿泊費が上昇し、宿泊先の確保に苦慮している。また、バスの借り上げ料等に、大会運営費用を加えた総費用の約4分の1の費用を参加者から負担してもらっている。今後も約4分の1の負担を考えているが、町でも旅費規定の見直しも検討している。

意見

ローイングの町美浜の代表として行ってもらっている為、参加者の負担が増えないようにしてもらいたい。





たか ぼし おさむ 議員 高橋 修

① レイクセンター運営 変更の原因と反省は？

問

12億4千万円を投入した大事業であるが、僅か1年で行き詰まり運営事業者の交代に追い込まれた。理事者の執行責任は重大であり住民への説明責任がある。

町長

平成28年廃業後の3年間、検討を重ねて再スタートしたが、短期間で直営での対応という事態になり遺憾である。原因は認知度や乗船の魅力を伝えきれず、また湖上等でのアクティビティへの取り組みが不足していた。専門シンクタンクに委託して戦略を構築し鋭意取り組んでいく。

副町長

町は、指定管理者選定審議会の審議を経て、令和4年8月に三方五湖DMOに運営を委託し、その後頻繁に打合せを行い、人的支援・各種補助・魅力アップ事業支援等を行ったが、こ

ういう事態になったことは遺憾である。

意見

DMOとは、地域の観光事業をリードする役割と資格を持つ機関で、その活躍が地域の観光振興を左右すると言われ町も出資している。もつと本意での対処ができたのではという怒りを覚える。町は、そうした反省にも立ち、関係する機関や関係する人々に如何に活躍してもらおうかを考える必要があると思う。

② 船の広域運行や各種船上イベントは実現できるか？

問

開業に至る間、理事者は三方湖や水月湖などの広域運航や多彩な船上イベントを喧伝したが全く実現しなかった。今後広域運航はできるのか。

観光誘客課長

若狭町関係地域との協議を進め、実現に向けて取り組んでいく。

③ 新体制での主たる運営戦略（具体施策）は何か？

問

DMOでも懸命の努力がなされたと思う。つ

まり現場の努力のみでは限界があり、町と関係者が連携した強い戦略が不可欠である。新体制での目玉となる戦略はあるのか。

意見

観光アドバイザーの助言と共にシンクタンクに経営戦略策定を委託する。すぐに専門家に委託となるのがおかしい。地元

観光誘客課長

の組織や人々を主役にしなければ、当事者意識も希薄で後が続かない。留意願いたい。

提案

まずは海山にも船の発着場を設け、レイクセントラと海山の航路を開通すると共に、レインボウラインを經由して海山とレイクセントラを結びバス又はタクシー路線を開通する。そして、レイク

町長

セントラ又は海山を起点とした湖とレインボウラインをガイド付きで楽しむ名物ループ観光路線を設定する。サイクリストなど船だけ又はバスだけの客も歓迎で、宿泊・飲食・物販等と絡ませ地域全体に恩恵を生み出す。その後の展開は略するが、町の垣根を越えて取り組んで欲しい。

健康福祉課長

今後のヒントになる建設的な提案だと思う。

④ 美浜町・琵琶湖北西地域道路整備促進期成同盟会について

問

6月の総会で、同盟会の目的が観光振興に偏って、住民の悲願であり現下の論点である原子力防災を含む防災の視点が弱い旨の発言をした。

それに対し町長は、会の名称変更を含めて善処すると約束したがいつできるのか。

町長

国のエネルギー政策の変化や災害の頻発で避難の機運が高まり、好機と捉え12月14日の総会で対処したい。

⑤ 美浜町の単身世帯数は？

問

2050年には27都道府県で単身世帯が40%を超えるという報道があった。美浜町の現状と今後の推計はどうか。

健康福祉課長

11月1日現在、全3621世帯中単身世帯は1171世帯(32%)で、内61%は高齢単身世帯が719世帯、全世帯の20%になる。

介護保険事業計画等に、2

045年の全世帯数は2854世帯で内高齢単身世帯は502世帯(18%)になる推計がある。

⑥ 高齢者の見守り体制は？

問

高齢者、特に高齢者の単身世帯は見守り体制が重要と言われるが、美浜町の現状と今後についてお尋ねする。

健康福祉課長

集落福祉委員と老人クラブの家庭相談員による訪問、配食サービスと緊急通報サービスによる安否確認等を行っている。本年度より重層的支援体制整備事業に取り組み地域での互助の強化に取り組んでいる。

意見

約10年後の2035年の町の人口は7500人、65歳以上は2985人(40%)、75歳以上は1979人(26%)という推計がある。超高齢社会の到来が現実であり、世代間交流と、それを通じた高齢者の活躍推進、デジタル技術の活用推進等、高齢社会への対応を政策のもっと太い柱に据えて取り組む必要がある。

令和7年 美浜町 20歳のつどい



おめでとうございます!

1月12日13時30分より美浜町生涯学習センターなびあすで「令和7年美浜町20歳のつどい」が開催されました。会場には75人が出席し、色鮮やかな振り袖やスーツ姿の若者が、友人や恩師との再会を喜び合い、大人になった自覚と決意を胸に新時代に向けて新たな一歩を踏み出しました。



編集後記

昨年は北陸新幹線敦賀開業によるインバウンド効果がありました。早期の大阪までの開通が望まれます。一方一月には能登半島地震、九月には豪雨災害等全国で災害が多発した一年でした。今年は自然災害がないことを祈るばかりです。また、美浜・高島広域避難・連携道路早期実現のため活動の強化充実に努める必要があります。

議会としては、議会と語ろう会等で、町民の皆様の御意見を伺いながら議会活動に活かしたいと思っています。御協力をお願いいたします。

(藤本記)

美浜町議会広報特別委員会

- 【委員長】辻井 雅之
- 【副委員長】幸丈 佑馬
- 【委員】藤本 悟・松下 照幸
高橋 修・上道 正二
兼田 和雄